

I 現状分析

I -1)福祉における現状

(ii) 居宅サービスの増加

公的機関の財政面の圧迫



共助による代替が必要

I 現状分析

I -1)福祉における現状

福祉の現状分析のまとめ

世帯人員数減少による、「家庭内扶助の弱体化」

居宅サービスの拡大「財政面への圧迫」 + 老老介護

I 現状分析

I-1) 福祉における現状

福祉の現状分析まとめ

共助により代替・補完が可能

I 現状分析

教育における現状

- ・ 私的な部分=家庭の教育
- ・ 公的な部分=学校の教育
- ・ 共的な部分=地域教育

I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

・私的な部分＝家庭の教育

教育において家庭は人格形成や社会性を養う場

その中で・・・

①時間的限界

②所得的格差

I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

①家庭教育の時間的限界

現在は**核家族化**や**母子家庭**など子育てに親や大人が時間をかけることが難しい

I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

全国の核家族世帯数

1968年 約1600万世帯



約2倍!!

2014年 約3000万世帯

I 現状分析

☆ ひとり親世帯数

(国勢調査)

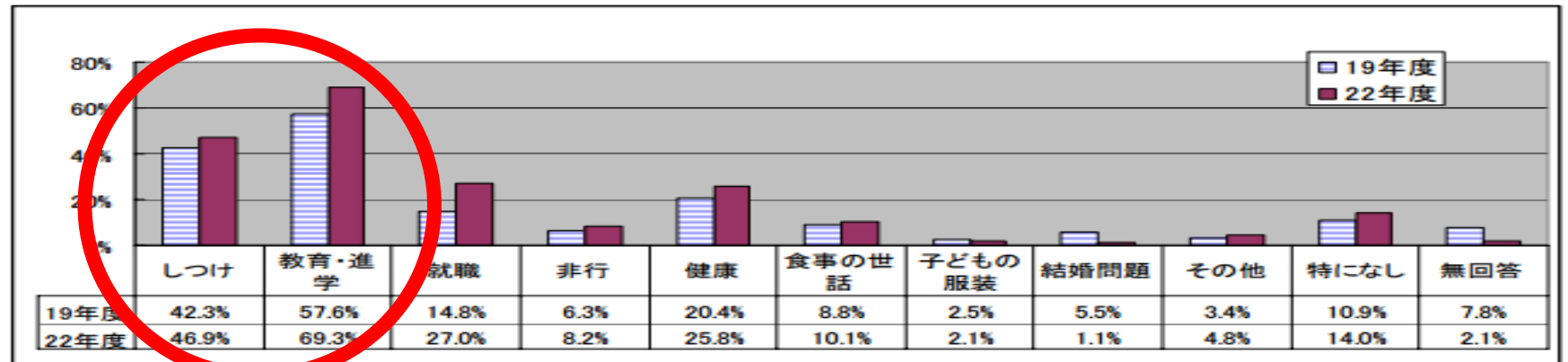
区分	平成 7 年			平成 12 年			平成 17 年		
	全世帯	母子世帯	父子世帯	全世帯	母子世帯	父子世帯	全世帯	母子世帯	父子世帯
釧路市	77,580	1,839	201	79,796	1,968	226	81,989	2,253	216
率	-	2.37%	0.26%	-	2.47%	0.28%	-	2.75%	0.26%
北海道	2,174,122	37,396	4,960	2,277,968	41,957	4,792	2,368,892	48,812	5,059
率	-	1.72%	0.23%	-	1.84%	0.21%	-	2.06%	0.21%
全国	43,899,923	529,631	88,081	46,782,383	625,904	87,373	49,062,530	749,048	92,285
率	-	1.21%	0.20%	-	1.34%	0.19%	-	1.53%	0.19%

(※ 平成7年、12年は市町合併前の旧釧路市、平成17年は市町合併後の新市の数字です)

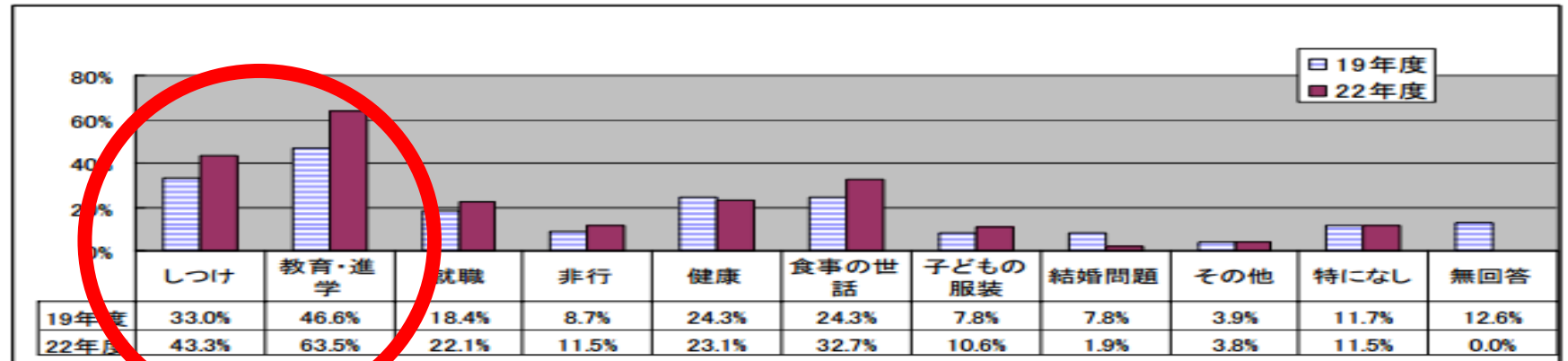
I 現状分析

I-2) 釧路の教育における現状

☆ 子どもについての悩み (母子家庭)



☆ 子どもについての悩み (父子家庭)



I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

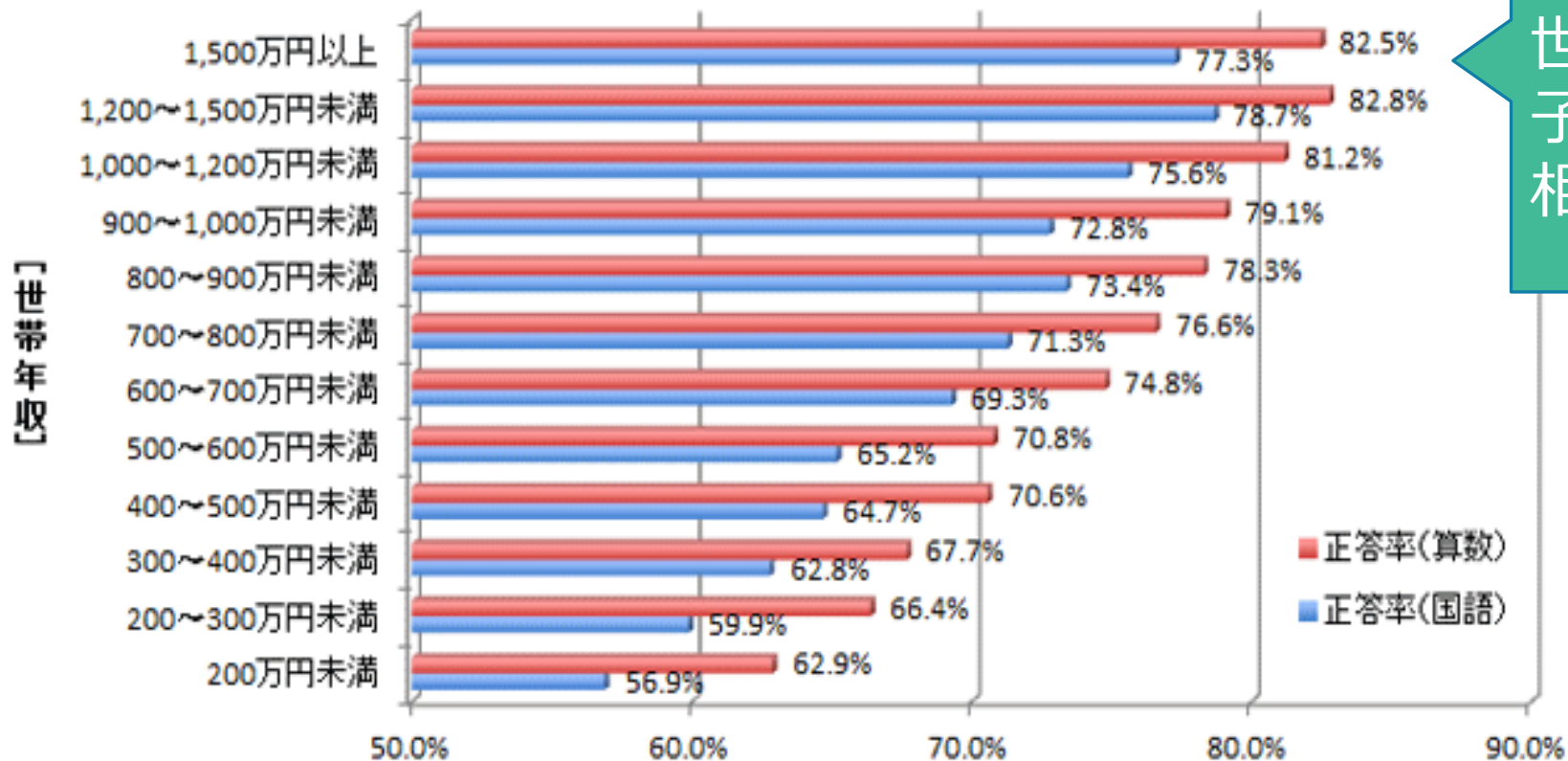
②家庭教育の所得的格差

家庭において、塾や習い事など教育の外部サービス化が進行している

所得に余裕のある家庭とそれ以外で教育に格差が生じている

I 現状分析

世帯年収と子どもの学力



世帯年収と
子どもの学力に
相関関係が！

I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

- ◆子どもの教育に時間を割くことが難しい
- ◆所得格差からなる教育の格差

家庭が持っていた教育的役割を果たしきれない世帯が増えている

I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

・学校教育の負担の増加

学力重視の偏差値教育



ゆとり教育



学力低下など問題
が発生

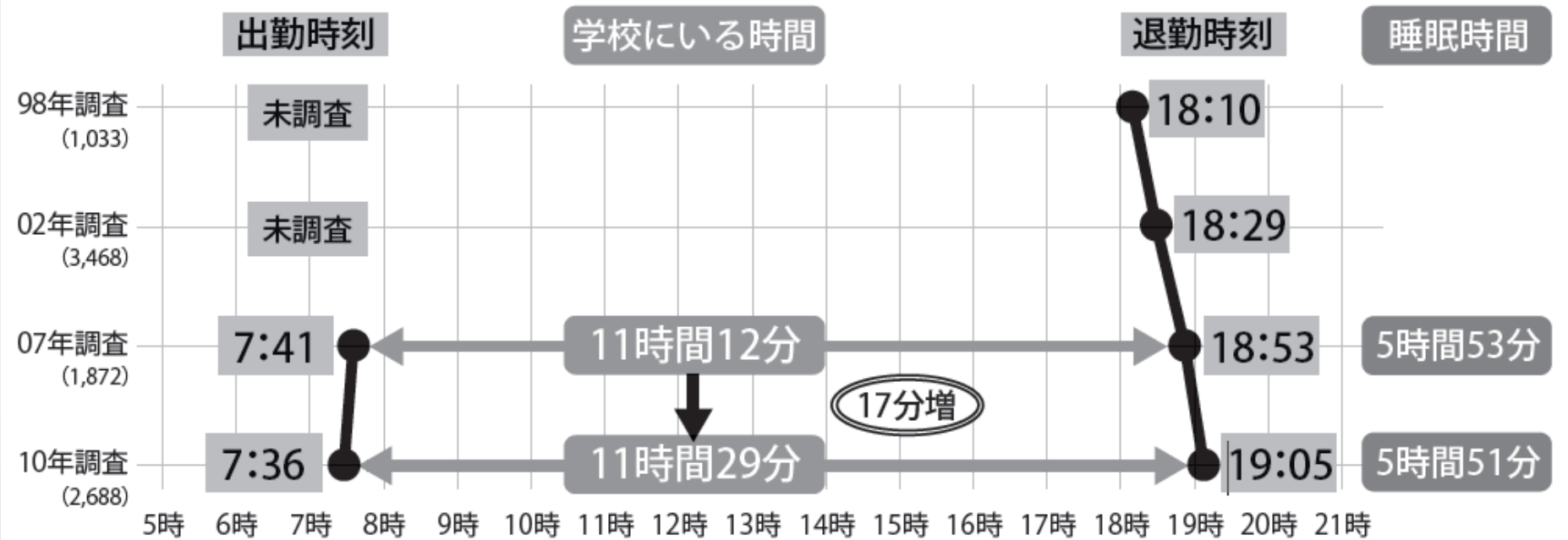


学力の定着を図りつつ、
道徳心や社会性を養う
ための総合の時間も重
視する教育方針に

I 現状分析

I-2) 釧路の教育における現状

図8-1-1 出勤時刻・退勤時刻・学校にいる時間・睡眠時間（平均時間／経年比較） **小学校教員**



I 現状分析

I -2) 釧路の教育における現状

学校教育の範囲の拡大により、将来的にうまく役割が果たせなくなる...

家庭の時間的限界、所得格差の現状



共の部分(地域教育)による補完的役割の必要性